

## 第6回 杉並区立中瀬中学校校舎改築検討懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第6回杉並区立中瀬中学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和3年1月19日（火）午後1時58分～3時16分
場 所	井草地域区民センター 第1・第2集会室
出 席 者	懇談会委員23名（欠席1名）
傍 聴 者	0名
次 第	1 開会 2 第5回懇談会の主な意見等について 3 校舎配置について 4 閉会
資 料	資料1 第5回懇談会の主な意見等 資料2-1 校舎配置ごとの特徴比較 資料2-2 校舎配置ごとの平面プラン 参考資料 日影図

進行役	<p>それでは、皆様お集まりですので、杉並区立中瀬中学校校舎改築検討懇談会を始めます。今日をご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日は事前に欠席の連絡はありません。この状況ですのなるべく短めに、手際よく会議を進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>3時半には終了したいと考えています。</p> <p>では、初めに学校整備課長からお願いいたします。</p>
学校整備課長	<p>皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、そして緊急事態宣言下の中ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>本日の開催について説明いたします。1月7日に緊急事態宣言が発令されて、今日の懇談会を実施するかどうかが事務局でも検討いたしました。前回、春の緊急事態宣言のときには学校も休校になり、区民センターなど公共の施設も含め休みになっていたこともあり、懇談会自体を延期し緊急事態宣言が終わった7月から開始しました。</p> <p>ただ、今回の緊急事態宣言に当たりましては、いろいろと報道されてはいますが20時以降の行動自粛について求められているほか、学校についても感染防止対策等を徹底した上で運営されています。</p>

	<p>またCSや学校支援本部等の活動についても、感染防止や開催方法などに配慮して可能な範囲で実施している状況でございます。ここ区民センターも、午後8時までと短縮にはなっておりますが、開所しております。</p> <p>そのような状況を踏まえ、これまでの懇談会と同様感染防止対策を徹底した上で、冒頭でもありましたが開催時間は1時間半程度で、時間も配慮させていただきます。また機械換気を行っているため通常は行いませんが、今日はセンターにお願いして、ここの窓を開けて換気を行っております。</p> <p>あと体育館で行った第1回の懇談会では、ビニール手袋をつけてマイクを持っていただきましたが今回も同様の対応を、それから本日はお茶を出すのを差し控えております。</p> <p>このような取り得る対応を取った上で、懇談会を行うことといたしました。</p> <p>本日は、校舎配置について前回絞ったBとD、2つの案をベースにいたしまして進めます。前回お伝えしましたとおり、本日委員の皆様のご意見がおおむね一致する場合は1つの案に決めたいと考えていますが、議論の状況などを踏まえて、決定に当たっては柔軟に考えてまいりたいと思いますので、本日の開催につきましてご理解いただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	それでは、配付資料の確認を事務局からお願いいたします。
教育施設計画推進担当係長	<p>資料の確認をいたします。資料につきましては、事前に送付いたしました資料で次第。そして資料1「第5回懇談会の主な意見等」。資料2-1「校舎配置ごとの特徴比較」。資料2-2「校舎配置ごとの平面プラン」ということで、資料2-2はBとDの配置それぞれ1部ずつとなっています。</p> <p>また、本日席上に配付いたしました現況及びBとDの時刻日影図を配付しています。</p> <p>不足がありましたら挙手をお願いします。大丈夫ですか。</p> <p>それでは、よろしくをお願いいたします。</p>
進行役	それでは、次第2「第5回懇談会の主な意見等について」、資料1、事務局から簡単に説明をお願いいたします。
教育施設計画推進担当係長	<p>資料1「第5回懇談会の主な意見等」を御覧ください。項目ごとにまとめていますが、本日時間の関係上、資料の読み上げは省略いたしますので、記載の内容をご確認いただければと思います。</p> <p>なお、裏面の最後「その他」にございますが、東京都の早稲田通りの拡幅工事について、前回ご質問がございました。これまでも、中瀬中の敷地に影響はないという認識でございましたが、改めて中瀬中の敷地に影響がないことを確認しておりますので、この場で共有させていただきます。</p> <p>よろしくをお願いいたします。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p> <p>ただいまの内容は本日の次第3の議事と関連しますので、引き続き次第3「校</p>

	<p>舎配置について」、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>設計会社がプロジェクターを用意しますので、少々お待ちください。</p>
<p>設計事務所</p>	<p>では、ご説明いたします。</p> <p>いつもどおり前に画面を提示いたしておりますが、お配りしている資料と全く同じものですので、配付されている資料をご確認ください。</p> <p>今回の配置Bと配置Dについて、簡単に施設概要を説明いたします。お手元に、右上に資料2-2と書いているものが2種類ありますが、左上に「B（校庭が東側配置の場合）」「D（校庭が西側配置の場合）」とタイトルをつけております。</p> <p>最初にBのご説明をいたします。前回の懇談会からの変更点として、校舎の一部を西側道路と同じ高さにして、地下1階、地上4階の計画としております。左側の図が地下1階の西側道路との関係で、真ん中の図が1階、グラウンドと同じレベルの絵になります。</p> <p>地下1階は、西側道路と同じ高さに計画することで車両の出入りが可能となることから、駐車場、給食調理場、通用口を設けました。給食の配膳・下膳を行うために、廊下の先にあるエレベーターから配膳を行う計画としております。</p> <p>お手元の2枚目、右下に断面構成図を書いています。これを見ていただくとイメージしやすいと思いますが、西側の道路は校庭よりも最大2.9m低くなっています。今まではこの2.9mの高低差で、擁壁で道路に面しておりましたが、既存擁壁を撤去した上で道路沿いに歩道状空地を設けて、歩道状空地に体育館の外壁や給食調理場が面しているイメージになります。</p> <p>1枚目に戻りまして、次に1階の説明を行います。人の動線ですが、ピンクの点線で矢印を書いているのが生徒動線です。緑の点線で矢印になっているのが来客動線ですが、生徒及び来客者は、既存の正門と同様の位置から上のハッチになっている多目的広場を通過して校舎に入ります。生徒動線と来客動線は、真ん中に青く塗っている用務警備室を挟んで分けています。</p> <p>車で来客は、先ほど言いました西側の地下駐車場からになります。車両動線については、一般車両は西側地下1階の駐車場を利用して、1階には緊急車両や一部を除いて車両は入らないこととしております。</p> <p>なお、車両で来て荷物の搬出入がある場合は、地下1階通用口を通じて校舎内に入り、エレベーターで1階に上がることが可能です。地下1階のセキュリティについては、インターフォンなどを考えています。また、歩いて来られる来客者も、西側の階段を上がって校舎玄関に行くことも可能です。</p> <p>校舎内については、昇降口は職員室、ラーニングセンター、体育館に面しており、エントランスホールを兼ねた計画となります。真ん中にオレンジで書いているラーニングセンターは職員室と近接していて、上部吹抜けとなった中庭に面した明るい環境となるように配慮しています。</p> <p>青いゾーンは管理ゾーンになりますが、校庭に面した東側に職員室、校長室、</p>

保健室などを配置して、ほかの管理諸室は南側に集中配置しています。南側の早稲田通りまでの離隔距離は約8m取っております。

2階から4階に上がると校庭に面した東側に、ピンクで書いている2～4階の普通教室、北側と南側にオレンジで表記している特別教室を配置しております。

1階に戻って、外構について説明いたします。校庭は、東側の高射砲台跡地と一体利用が可能となります。既存校庭とほぼ変わらない位置となるため、防球ネットも既存と同じ位置になります。校庭面積は既存と同程度の約4,910㎡、先ほど申しましたが昇降口に面して、ハッチがかかっている部分ですが、多目的広場約800㎡でございます。この多目的広場は、校庭の補完的な活用を考慮しており、黄色で書いている体育館や防災倉庫と隣接させることで、災害時にも活用しやすい計画としております。

左上に黄緑色で書いていますが、学校開放の会議室がございます。北西側に独立して設けています。ただしこのエリアは、左側に地下、紫色で給食調理場と書いていますが、その上にあり、給食調理場の天井の高さを確保するために、ほかの1階部分より約1m程度高い位置にこの会議室はありますので、多目的広場からは階段やスロープを通過してアプローチいたします。

次に、配置Dの説明に入ります。配置Dは4階建ての計画となります。1階から説明すると、動線は先ほどと同じように生徒がピンクの矢印、来客が緑の矢印と塗り分けていますが、生徒及び歩いて来られる来客者は、先ほどのBと同様に既存の正門の位置から多目的広場を通過して校舎に入ります。生徒の昇降口と来客の玄関は青色で示しておりますが、用務警備室を挟んで分けております。

駐車場については北東角の道路から出入りし、歩行者動線と分離させております。給食車両は南側の早稲田通りから出入りし、各階の給食の配膳・下膳はエレベーターを使って行います。

校舎内については、1階は主に昇降口と管理諸室で構成しています。昇降口は体育館にアクセスできるホールとなります。昇降口に隣接して職員室があり、職員室・校長室から保健室までの並びは校庭への見渡しが可能な西側に配置しています。

南側早稲田通りまでは、1階は先ほどのBと同じ約8mの離隔となります。真ん中に「中庭」と書いていますが、上部吹抜けとなった中庭があり、真ん中の青い部屋、PTA室や学校支援本部の採光を確保しています。

この中庭に面した階段を、2階から4階に上がっていきます。2～4階は、必要な諸室を並べた結果、南側をセットバックしたほぼ正方形のプランとなります。従って、南側の早稲田通りに対して斜めにセットバックした形となり、1階は一律8mのセットバックでしたが、2～4階は、場所によって違いますが、約10～20m程度の離隔を確保しています。

ピンクで書いていますが、校庭に面した西側2～4階に普通教室、南北にオ

レンジで書いている特別教室を配置しています。

2階の南に、三角形の「テラス」と書いたところがありますが、これは1階からセットバックした部分の屋上テラスになります。ラーニングセンターはこの2階に配置しており、三角形のテラスに面して外部とのつながりを持たせた計画としております。

次に、1階に戻り、外構について説明いたします。既存の高射砲台跡地は、Bとは違い校庭と分断された形となってしまいますが、校舎との間に高射砲台前広場を形成しております。この高射砲台前広場と、体育館の一体的な利用が可能となります。

校庭については、既存校庭と位置が異なるため、北、西、南に防球ネットを設置する計画となります。校庭面積については、既存とおおむね同等の4,730㎡程度。また、Bと同様に昇降口に面して830㎡程度の多目的広場がございます。この多目的広場は先ほど説明した内容と同じで、校庭の補完的活用が可能となり、災害時にも活用しやすいように、体育館や防災倉庫と隣接させています。右上の黄緑色の学校開放会議室も多目的広場に面し、独立して設けています。

ただし、この学校開放会議室や茶色で書いている防災倉庫は既存校舎と重なる位置となるため、既存校舎の解体工事が完了した後の二期工事となります。

以上、BとDの簡単な平面の説明になりますが、以上の点を踏まえて、右上に「資料2-1」と書いている「校舎配置ごとの特徴比較」を御覧ください。前の画面は見づらいと思うので、主にお手元の資料の赤字の部分の説明します。

先ほどの説明と重複する部分もごさいますが、BとDの特徴の主な違いを簡単にご説明いたします。

「1校舎環境」についてです。赤字で書いておりますが、普通教室の向きがBでは東側、Dでは西側を向いております。ただし、これはどちらも校庭を向く点では同じです。

下に行きまして、南側の早稲田通りまでの離隔距離は、BとDも1階は約8mとほぼ同等ですが、Dについては先ほど申しましたとおり、2階から4階は約10~20mと、場所によって斜めにセットバックしていくということになっております。

校舎環境の一番下、ラーニングセンターについて。Bでは1階となります。昇降口、職員室中庭に面した位置となります。Dでは、2階の三角形のテラスに面した位置となります。

次にその下の項目、「2校庭環境」です。校庭環境では、BとDの校庭面積、多目的広場面積に多少の違いが見られます。また、歩車分離の考え方については、Bでは地下駐車場による歩車分離、Dでは地上駐車場ですが正門と分けることで歩車分離を図っております。

校舎砲台の活用方法は、Bは校舎との一体利用、Dは高射砲台前広場を設けて、体育館や広場との一体利用を図っております。

	<p>次に「3 周辺環境」です。周辺環境としては、前回までの懇談会でも同様のことを記載していますが、校庭が既存校庭の状況に近いかどうかで、音や砂ぼこりの影響や差をお手元の資料に記載しています。</p> <p>日影については、本日配付した時刻日影図を御覧ください。どちらも道路を挟んでの向かい、周辺街区にはB案、D案どちらも終日日影は発生しませんが、上段に冬至、下段に夏至を書いています。上段の冬至の場合、Bは西側住居にかかる午前の日影範囲が既存より広がります。逆にDでは、東側住居にかかる午後の日影範囲が既存より広がる特徴がございます。</p> <p>比較表に戻っていただいて、最後の「4 工事計画」についても前回までの懇談会とほぼ同様になります。Bは、既存校舎のうち北側の管理教室棟が工事中も利用できますが、体育館や特別教室などは仮設とする必要があります。</p> <p>なお、仮設体育館はこれまでの杉並区の仮設体育館の事例から、アリーナが最大でも 450 m<sup>2</sup>程度となり、既存体育館の約 3 分の 2 の面積となります。ステージは常設ではなく、台を必要に応じて置く形式になると想定されます。</p> <p>一方のDは、既存校舎を残しながら改築校舎の工事が可能ですので、仮設校舎・仮設体育館は不要となります。ただし工事期間中、Bについては小さいながらも約 700 m<sup>2</sup>の校庭利用が可能なのに対して、Dは既存校舎を残しながらの工事になりますので、校庭は全て工事に使ってしまいますので、Dについては工事中の校庭利用ができません。</p> <p>最下段に書いてある工事期間・コストについて。仮設校舎や擁壁撤去の有無などを考慮して記載しています。Bは既存擁壁の撤去と、建物の一部が地下になることなどから、前回懇談会のB案より工期を約3ヶ月程度長く表記しており、コストも約1億円程度増える想定で書いています。</p> <p>これまでの懇談会でも触れましたが、工事期間やコストはあくまでも現段階での想定で、実際には多少前後する場合がございますので、ご了承ください。</p> <p>以上が、本日お配りした資料の説明となります。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>校舎配置案と、その特徴比較の説明でした。この後、一人一人から意見を頂戴したいのですが、今の説明についてももう少し詳しく知りたいというご質問等がありますか。あれば挙手をお願いいたします。よろしいですか。今まで何回か出た内容と重複しますので、進行中でお聞きになりたいことがあれば、遠慮なく申し出てください。</p> <p>それでは、お一人ずつご意見・ご感想を頂きたいと思います。</p>
委員	<p>ご説明いただきありがとうございました。前回の会議は欠席しましたが、その前に部長からご説明いただいて、B案とD案をあらかじめ見ていました。いろいろな条件があって、いろいろなご意見があると思いますが、使う側から考えた立場で申し上げると、私の経験上、東側に校舎があると、冬の校庭はかなり霜が降りて半日以上使えない状況がずっとあったので、運動部の活動や午前中の体育には相当な影響が出るのは容易に想像がつきます。</p>

	<p>それが溶けだしてぬかるんだ状態になることもままあって、午後の活動まで影響があったことは私の記憶にもたくさんあるので、どちらかと言うと私はB案のほうが使い勝手も、それから子どもたちが通ってくる状況、校門を入れて校庭が見えて校舎が見えてという状況や、高射砲台跡地が校庭側にある、それも見渡せて、様々な活動との一体化ができるのではないかと考えていましたので、私としてはB案がよろしいのではないかと考えていました。</p>
委員	<p>中瀬中の西側を通ると、いつも壁にかなり圧迫された感じで、崩れてくるのではないかと歩いていたのですが、B案の給食室を地下化することによって、あの壁がなくなり、かつ下に駐車スペースができるのはかなりいい意見ではないかと思いました。</p> <p>全体的に見てBもDも校舎の内容的に変わりませんが、やはり朝、東から普通教室に日が入るのは、子どもが登校したときにすがすがしい気持ちがあるので、私としてはBのほうがいいのかと思います。ただ予算面を見ると6億円違います。</p> <p>杉並区の場合はコロナ対応で教育予算は削減され、いろいろ考えると6億円はどうかと思いますが、長い目で見て子どもたちが使うことを考えると、このぐらいは杉並区に出してもらって、なるべく皆さんが思った、子どもが充実した活動ができる校舎にしてもらったほうが良いと思いました。</p>
委員	<p>私も今二人がお話したことと同じですが、高射砲台はこの学校の大切なというか、いい跡地、残っていることが貴重ではないかとずっと思っていましたので、これを活用するという意味ではBが良いと思います。</p> <p>トータルでは日の当たり方の問題が一番大きいですが、Bが良いと考えています。</p>
委員	<p>先ほどおっしゃったように、コロナ禍で杉並区は予算が大変かなと思っておりませんが、金額的な面だとDが良いと思いますが、使用勝手その他のことがあって、地下駐車場、地下に給食調理室等新しくでき、西側に若干歩道状空地もできるということなので、私としては金額的にはちょっと気になりますが、B案が良いと思っています。</p>
委員	<p>先ほど先生方のお話にありましたように、東側の日照は子どもたちにとって非常に大切だと思います。それからグラウンドを広く使えるということで、やはりBがよろしいと思います。</p> <p>長い間子どもたちが利用するには少しでも広く、自由なスペースがあればと考えています。従って、B案が良いのではないかと考えています。</p>
委員	<p>さすがに煮詰まっただけあって、きれいなレイアウトの図面だと思います。昔のA案はどこに行ってしまったのかという感じですが、値段的なものですか。</p> <p>どちらを取っても特徴があって素晴らしいですが、校庭の位置やシンプルさで私はD案が好きですが、なぜB案が良いかというと、校庭の位置が東側と言うことと、動線がきれい。</p> <p>あとは費用の問題だと思います。6億円あったら、いろいろなものができる</p>

	のではないかと考えてしまいます。まとまった案ではなくすみません。
委員	<p>私はDがいいと思います。というのは、東側が高く、坂になっていて西側は低い。だから、川のほうに向かって低くなっていると、西側が運動場だと開放感があって、体操しているときに圧迫感がないと思います。</p> <p>Bは囲まれていて、野球場のようにすり鉢の中でやっているような感じになって、開放感がないと思うので、Dがいいと思います。</p>
委員	<p>特に意見はありませんが、南側の角は、高射砲台があったときから一般の家がありました。これは昭和17年頃、高射砲陣地ができたときには1軒、家がありまして、高射砲陣地も、そこだけはできなかった。この敷地があると学校の敷地がもっと広くなると思います。</p>
委員	<p>いろいろ考えましたが、さすがにうまくまとまっていて、私もB案がいいと思います。今回見ましたら、高射砲陣地とグラウンドが一体化し、伸び伸びと運動ができるのではないかと考えています。</p> <p>また駐輪場等も地下に設けて、その辺の動きなどもスムーズに行くと思いました。</p>
委員	<p>私はB案がいいと思っています。前から言っていましたが、新しい学校ということで、ラーニングセンターを中心に学校の運営ができればいいのではないかと考えて、学校の顔となる1階職員室の前ということで、生徒と教職員の動線上のつながりもよく、Bがいいと思いました。</p> <p>昇降口もBのほうが広めで、子どもたちの登校の時間が大体同じだと思いますが、Bのほうが混雑しないで済むかなと思いました。</p> <p>それと、D案で高射砲台前広場を造っていますが、結局あまり活用されないまま終わってしまうのではと考えて、保護者からもぜひ高射砲台跡地を残して、体育祭などで観覧席に使いたいとのご意見を聞いていたので、ぜひB案でお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>私はずっとA案がいいと考えていて、でも前回のご説明の中で、校庭の広さを実際に写真で見て、こんなに狭いのではAはきついいと思いました。</p> <p>一部地下化にできるのであればAで寄せることもできたのではないかと考えていましたが、全部を地下化はできないので、現実的な観点で見るとBがいいと思います。</p> <p>周りの擁壁も実際かなりの圧迫感があって、危ないのではないかとこの気持ちもあつたので、そこが歩道になるのは近隣の住民の安心感と利便性も高まると思いますので、私はBがいいと思っています。</p>
委員	<p>B案に賛成したいと思います。私もずっとA案に賛成してきましたが、中学生には校庭が広いのが必須条件だというお話に納得しまして、BとDになったとき、やはりBがいいと思っています。Dになると、この先暑い夏が続いていくだろうと思ったとき、日差しが強い場所に教室を置くことに抵抗感がありますし、子どもたちの教室に朝日が当たるB案がいいと思っています。</p>



	<p>あと、工事期間に校庭を一部利用できるのもいいと思いました。生徒たちの体を動かせる場所があるということが、小学校に借りることもあるかもしれませんが、一部使えるところがあるのは有効なことではないかと思っています。</p> <p>いろいろ考えて、B案に賛成いたします。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>私も校庭の形ということでA案がなくなったのはしょうがないと思って、諦めました。B案を支持します。</p> <p>B案支持の理由は、箇条書きで書いたのをお渡ししていますが、1、校庭の形がよく、東側の高射砲台跡地を観客席として有効に利用できる。D案はトラック周りが狭く、体育大会の際の生徒席・観客席等が設けにくい。</p> <p>2、校舎東側高射砲台跡地上の樹木を、普通教室や校庭からの景観として生かせません。D案では校舎の裏側になり、景観として生かせません。</p> <p>3、教室・職員室が東を向いています。まだ気温が大きく上昇する前の午前中の日光は、冬は室温を上げることに資し、夏も熱負荷が午後の西日より少ないと思います。校庭が東側にある阿佐谷中からいらっしゃった副校長先生も、朝の日差しは気持ちがよかったと話されています。</p> <p>D案は、普通教室・職員室が西側にあり、午後夏の西日の直射を受けます。夏場気温の上昇した午後に日光の直射を受けることは、温暖化している近年の一般的な経験からも大変つらいと推測します。部屋の温度を上げておいて空調等機械力で調整するのは、省エネやエコを大事にする観点から大きく後退します。</p> <p>4、校庭も西側に建物があることで、真夏の西日の直射を一部ですが避けられ、体育授業や部活中に熱中症になるリスクが下げられます。Dは夏場の西日を遮るものがなく、熱中症のリスクが高くなります。</p> <p>5、ラーニングセンターがどの学年の生徒も利用しやすく、職員室とも隣接していて、コミュニケーションの取りやすい1階にあるのがいいです。学校内の集いの広場としての機能を期待したいです。D案はラーニングセンターが2階にあり職員室とも違うフロアで、みんなが集い、学び合うというラーニングセンターの機能に適しているとは考えにくいです。</p> <p>6、駐車場入り口を西側道路から取ることで上手に歩車分離ができており、災害時に緊急道路として広域的な運搬に使用される予定の早稲田通りとは別の救援所への物資等の運搬ルートが確保できていると思います。D案では、住宅地内の狭い道路が車両出入口になっていて、平常時も災害時も近隣への負の影響が大きく、使いにくいです。</p> <p>仮設に関して。既存校舎を現地で建て替える場合、仮設校舎が必要になることは当たり前で、仮設を造らないことが最優先になるのはおかしいと思いますが、B案に関しては利便性と経費の点を考慮して一部既存校舎を利用する工夫もされており、評価できます。</p> <p>事務局の方が設計などに大変知恵を絞ってくださって、いい案になってきていると思います。ありがとうございます。B案を支持します。</p>

委員	<p>私もB案を支持いたします。B案のよさは、運動できるトラックに学校の周りの樹木がそのまま残ることで日影が大分取れることと、目にやさしい緑がちゃんととできているかなと。</p> <p>もう1つ、車両の出入口を西側に削って取るので、もともと低いところを埋め立てて、パイプを打って建物を建てているようなところで、1回土留めが崩れたことがあるので、道路と同じレベルにして、そこからそういう形で利用できる。給食室等についても、こういう分離した中でできることは非常にいいと思います。ということで、Bを支持いたします。</p>
委員	<p>今まで幾つか出た案で、私もBがいいと思っています。校庭の件、そのほか擁壁の件も解決できますので、いいと思います。それとは別の観点でお話をしたいと思います。</p> <p>中の教室やその他の部屋の配置はこれから実際は変わる可能性もありますが、今ここに出ている案でお話ししたいと思います。例えば校庭に面した保健室を設定する。どの学校も大体そうしていますが、B案の場合はその真上に各教室があつて、この図で言うと職員室、校長応接スペース脇の階段から子どもたちは2～3階に降りてくる。すぐ前に保健室がある。</p> <p>D案では、上に教室はありますが、直接降りて来るとなると階段は裏側になってしまいます。教室の前の階段を降りると職員室の前に出てくるので、保健室に行くのに職員室、校長室の前を、全てを通過して行かなければならない。</p> <p>子どもたちは結構保健室に行きますが、今の学校も昇降口のすぐ脇にあります。子どもたちの行動から考えて保健室に行きづらいのがDで、行きやすいのがBと考えられます。</p> <p>それから、先ほどありました図書室・ラーニングセンターが真ん中にあつて、どこからも見える状態があるのでいいかなと思っています。</p> <p>あと、これは工事の関係でどうなるかわかりませんが、2～3年前に工事して中瀬中に造った大きな防球ネット、B案なら工事をうまくすればそのまま生かして取っておけますが、D案はこのままでは多分壊してなくなってしまうと思うので、既存のものもある程度使えることで考えると、B案がいいかなと考えています。</p>
委員	<p>私もB案がいいと思います。理由は校庭が東側にあるので、午前中の教室の日当たりがよくなることと、職員室の近くにラーニングセンターがあるのがすごくいいと思いました。</p> <p>あと、地下を有効利用するというので、給食調理場も場合によってはもうちょっと広く取れたりするのかなと思うのと、地下に車が入り出すスペースがあるので、子どもたちの登校時の安全を考えると有効利用でいいと思いました。</p> <p>ただ、地下にそういうところがあると、防犯上のセキュリティーがどうなのかというところが心配で、見えにくいところになるので、そこはしっかりしたほうがいいと思いました。</p>

進行役	今の質問に対しては、後でもう一度お願いいたします。
委員	<p>私もB案がいいと思います。理由は既に皆さんがおっしゃっていることと同じですが、教室に朝日が入ることと、ラーニングセンターが中央にあること、校庭が校舎砲台跡地を生かしたものになっているところがいいと思いました。</p> <p>D案の気になるところは、高射砲台前広場がありますが、職員室からも見えない場所ですし、体育館の裏側で、死角になっているイメージで、そういう死角になっている場所にこういう広場があるのは心配かなと個人的には思います。</p>
委員	<p>悩ましいですが、私はD案を推します。理由は期間と金額。6億円あれば土地買収できる金額なので、現段階ではD案ではないかと思っています。</p> <p>一方で、今皆さんのお話をお聞きして、日照自体はD案にした時点で変えられないと思いますが、日照に伴う校庭のぬかみ問題などを6億円で違うプランに変えられるのであればとか、もう1つ僕もお聞きしていて、B案のラーニングセンターを含むオープンな、開放感のあるというのは、今後学校が地域と絡んでいく上ですごくいいと思います。</p> <p>もう1つ、高射砲台跡地は確かに図面ベースでは活用方法が見えにくいと思うので、その辺がもしB案が取り込んだ上で、別案で外部との開放性や、高射砲台跡地を活用した地域のにぎわいづくりみたいなものが見えるのであれば、B案と思います。</p> <p>現段階では決めにくいと思いますが、あくまでも私としては予算と期間で、まだD案ではないかという意見です。</p>
委員	<p>今までいろいろなニーズや希望が出たのを1つ1つ、全て解決されたのがB案ではないかと、私は見えていて思いました。これは残したいとか、こういう構造にしたいというのは今のB案で、こちらからのニーズはこの案が全て解決してくれているのではないかと見ていました。</p> <p>一部アニメファンの聖地の擁壁がなくなるのは残念に思う方もいると思いますが、ここも車両出入口にされて、生徒との動線を分けていただいたことで、大変安全に行けると思います。残念ながらうちの子は通えませんが、これができ上がったときに、すてきなものを想像しながら拝見しておりました。</p>
進行役	一通り回りましたが、先ほどの質問はよろしいですか。セキュリティーの問題。説明があったと思いますが、もう一度お願いできますか。地下からの動線のところのセキュリティーです。
営繕課主査	<p>地下からの出入りに関しては基本的に通用口にしていますので、一般の方がふだん出入りするところではないと思っています。その横の階段の使用頻度やセキュリティー対策については、学校と相談しながら進めていく問題と思っています。</p> <p>基本的に地下1階側に車を止める。そこからの動線をどうするかということで階段や通用口の計画をしています。例えば道路境界、歩道状空地と学校の</p>

	敷地との間にフェンスを設けるとか、その辺りは夜間も含めてだと思いますが、セキュリティ対策は必要かなと事務局としても考えています。
進行役	よろしいですか。ほかにご質問はないようですので、あともうお二人の委員のご意見・ご感想を伺います。
委員	<p>BとDは校舎とグラウンドの位置が左右反対になっている構図なのかなと思いますが、そのことによってメリットやデメリットが出てくると思います。BとDそれぞれのよさについて皆様からいろいろな意見が出ましたが、1つは日差しとの関係、暑さにもつながりますが、校舎がどこにあることで、どういう影響が出るかということ。</p> <p>もう1つ、前回か前々回にも議論になりましたが、風が抜けることでグラウンドの砂ぼこりだとかそういう対策はどっちがどうなのかということで、今ある樹木等が遮る形になるのはBではないかとのことご指摘もありましたが、Dを取るのであれば防風施設をどうするかという問題も出てくると思います。</p> <p>それからテラス席というのでしょうか、そういうものはDに少し余裕があって、そういうところを活用すると、いろいろと教育活動が充実できる側面もあるのかなという感じもしました。</p> <p>ただ、問題なのは工期と費用の差でしょうか。特に工期が1年ぐらい違っているの、この辺をどう考えるのか。その間子どもたち、保護者と教職員にとって、この1年の違いをどう考えればいいのか。私もどう考えればいいのか分かりませんが、これからさらに議論を重ねて、煮詰めていければと思っています。</p>
委員	<p>前回から、かなり工夫して提案してくださっているところを見たいと思います。D案もすごく頑張って、いろいろ工夫されていると思います。前回のD案は、体育館が横向きだったものを南北縦向きに直して、それで普通教室を西側に整備し、特別教室を南側に整備するという、かなり頑張った形で設計提案をされていると思います。</p> <p>それによって、B案との普通教室の対比がより鮮明になってきたと思いますが、ただこの配置計画だとどうしても、給食調理室を南側1階の一番角に持つてござるを得ない。これで歩車分離、動線分離を実現しているという案になっているところがこの案の特徴です。</p> <p>なので、1階に給食調理場を大きく持っていますので、ラーニングセンターを1階に持って来られないというところにつながってきていると見て思いました。</p> <p>一方B案はその辺りが改善されていて、非常に整理された案になっていると思います。</p> <p>それで、委員の方々から普通教室の向きに対して朝日が入る、すがすがしい、日が当たっていいということがありましたが、私はもう1つ、人間の体の体内時計、サーカディアンリズムを乱してしまうと病気や睡眠障害になりますが、朝日が当たることによって体のリズムがリセットされる効果があると聞いてい</p>

	<p>ます。そういう意味で、東向きの普通教室は評価されるのではないかと思います。</p> <p>一方で少し心配なのはB案の、地下を使うところです。以前拝見した資料にハザードマップが出ていますが、2 mの水位のところがちょうど中瀬中学校の北西の角の辺りに来ています。そこは今地下駐車場を造ろうとしているところなので、もちろん地下を活用するのはいいですが、そういう災害時のことも考えて、本当に地下に給食室まで置く必要があるかどうかを今後考えていく必要があるのではないかと、この案を見て思いました。</p>
進行役	<p>それではご意見を一通り頂きましたが、補足で意見はございますか。</p> <p>給食室のことが今の委員から出ましたが、事務局側から補足はありますか。</p>
営繕課施設整備担当課長	<p>給食室の浸水対策ですが、おっしゃるとおりハザードマップで色が塗られた地域ですので、今後設計の中で十分詰めていきたいと思っています。</p> <p>例えば防水のドアや窓を高めに設けるなどの対応、他には防水板もございませぬので、それをどのように組み合わせたいか、今後の設計で検討していきたいと思っています。</p>
進行役	<p>ここまで委員の方々から意見をもらいました。これまでの懇談会でも様々な意見を頂きましたが、それらを踏まえて、事務局からはいかがですか。</p>
学校整備課長	<p>いろいろとご意見ありがとうございます。今回BとDの2つに絞った上で、それぞれの案について、皆様のご意見を伺い、事務局では、多くの皆様から改良されたところについてご評価いただいた部分と、まだ課題がある部分もあると認識いたしました。</p> <p>採光の部分、今回BとDとで東と西、当然配置は違いますので、それによって普通教室の向きが変わるということで、この辺はかなり大きく、意見として出たと思います。</p> <p>現状を申し上げますと、今は電子黒板を使う授業が多く、日が入って来ると見えないこともあって、カーテンを閉めるとかである程度照度が保たれている部分もあるので、単に明るさという意味では問題はないと思いますが、ご指摘いただいた、朝日を浴びるとか、西日、校庭の日照の部分、それから熱中症のことなどご意見を頂き、西向きの普通教室は懸念が多いことは理解しております。</p> <p>それから校庭環境も、Bのほうが整形で、面積も多少広がる。ただ、Dももちろんほかの学校と比べて必ずしも狭いわけではありませんが、高射砲台跡地が、Bの場合今までと同様に使うことができることからイメージしやすい。Dは、逆に北西側に校庭が来ることありますので、そのようなことでイメージしにくい部分があったのかなと理解しております。</p> <p>周辺環境についてもご意見を頂きましたが、Bのほうが当然既存に近い。特に東側に樹木、高射砲台跡地は現状と変わらない形になりますが、BもDも校庭に面する住宅があることには変わりありませんので、どちらにしてもその辺の配慮は必要になってくると思っています。</p>

	<p>また、工事計画についてご意見を頂きました。Bは管理教室棟も工事期間中利用できますが、特別教室は仮設になる。その部分で、工期も長くなっていて、Bになる場合は生徒活動や学校運営にはその分長くご不便をおかけします。一方Dは、既存の校舎や体育館をそのまま使えますが、逆に工事期間中、校庭が全く使えないので、ここにも課題があります。</p> <p>もう1つご意見を頂きました、工期とコストというところで、Dのほうが工期が短く、コストも低いということがございます。</p> <p>こうしたことから、本日の皆様のご意見の中にもありましたが、区のコロナの状況でということで、非常に難しい面はありますが、校庭や校舎の位置の関係などを考えると、今回の校舎の配置については、両方ご意見あることは承知していますが、ご意見の多かったB案で進められればと思っています。</p> <p>ただ、今までお話ししましたように、繰り返しになりますが工期・コストの問題がDと比べると大きいことは事実ですので、これから実際に仮設校舎をどれぐらいのスペースで造っていくとか、工期をどれぐらい短縮できるかというところがあります。その工夫についてもこれから具体的な平面を次回以降決めていきますが、その辺も考慮しながら進めていければと思っています。</p> <p>そういうことで、今後工期やコストの面なども検討する前提をもって、校舎配置についてはB案で進められればと思いますが、いかがでしょうか。</p>
進行役	<p>事務局からは最初案で、意見が多かったBで検討を進めていきたいということです。いずれにしろ様々な問題がありますが、いかがでしょうか。</p> <p>私が意見を言う機会がありませんが、いずれにしろ3～4年かかるので、その間校庭がないとなると、部活は全部外に出なければならず、残念ながらすぐそばにいい校庭があるわけではないので、実はD案だと結構きついなと。体育館はいいのですが、校庭の部活が外で、東原中や天沼中に行ってそこで解散する状況にならざるを得ないので、厳しいと思っていました。</p> <p>体育館にしろ校庭にしろ、少しずつでもあれば、一部の部活だけで済むということもあると思います。あと、体育の授業もやりやすいです。その分、どうしても3年なり4年なりの教育活動の質を担保するためには、どうしてもお金がかかると見ていました。</p> <p>では、今後はB案で設計を進めていくことでよろしいでしょうか。いろいろな意見はあると思いますが、今度は校舎内の教室配置や様々なことも考えていかなければいけないし、細かくセキュリティーの問題や、水の問題などを詰めていくためにはどちらかに絞る必要がありますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>質問があります。いつも資料を支援本部の仲間に配って意見をもらっていますが、配置についてはみんなB案がいいと言っていたのでよかったのですが、教室の中のことは今でいいのかどうか分かりませんが、茶道部のOBから和室がどうしても欲しいというのを前にも申し上げましたが、それはこれからの工夫で検討していただけたらいいと思いますか。</p>

進行役	確認ですが、教室の配置とか、そこら辺についてはまだこれからですよ。
教育施設計画推進担当係長	今から席上配付させていただく、懇談会の検討期間変更の中でも示していますが、平面プランについては次回、その次等を含めて検討したいと思っています。本日は時間の関係もあり、配置のことについてのみということにさせていただきたいと思いますので、その和室というような件につきましては、次回以降に、区の見解を含めてお話をしたいと思っています。よろしくお願いたします。
委員	私も質問してもいいですか。駐車場は業者だけではなく、一般の方も使えるということですか。その場合、車椅子の方が通用口から入れる道があるのか知りたかったのですが。
営繕課主査	<p>給食調理場から続いている廊下の先のエレベーターは一般の方も乗れるエレベーターになっていますので、地下1階の平面図で言いますと、自転車駐車場の脇を通った先の通用口から入っていただいてエレベーターに乗れば、1階の体育館脇にあるエレベーターに出てきますので、車椅子の方も校舎の中に入っただけの計画になっています。</p> <p>ただ、先ほどもありました地下1階の通用口に入るときに、セキュリティーをどうするかという件がありますので、インターフォンや電子錠であったり、遠隔操作の何かを用いて、どうぞお入りくださいという形になると思います。</p> <p>地上の多目的広場も、基本的に車両が乗り入れても可能な舗装にしますので、当然災害時の緊急車両はグラウンドに入ってきます。どうしても直接1階に車を乗りつけたいということで、学校に了解していただければ、地下でなく地上で降りていただくことも可能と思っています。</p>
委員	車椅子の方だと1回建物に入って、また上がって出てというのは結構ストレスになると思いましたが、正門から入ることも学校の許可で可能ですか。
営繕課主査	学校の運用の仕方になると思います。あくまでも地下駐車場に止めていただいてということであれば、そうかと思えます。
進行役	地下と言っても、西側の道からすると1階ですよ。
営繕課主査	はい。道路と同じ高さで入れる駐車場になります。駐車場を降りてから通用口まで特に高低差はなくアクセスできますし、通用口からエレベーターはフラットになります。このエレベーターの廊下は屋内になっていますので、通用口に入った時点で雨に濡れません。
進行役	では、事務局から連絡事項をお願いします。
学校整備課長	<p>皆様に今、「改築検討懇談会の検討期間変更について」という資料をお配りしました。前回懇談会の最後に口頭でご報告・ご説明しましたが、検討開始は本来4月だったのが7月からと3ヶ月間遅れましたので、年度をまたいで6月ごろまでの延長の話をさせていただきました。</p> <p>現時点での想定スケジュールを作りましたので、本日はこちらでご説明いたします。</p> <p>今日が第6回、令和3年1月の所ですが校舎配置を決めました。次回第7回</p>

	<p>は3月1日予定と書いておりますが、検討内容は平面計画、中間まとめ案を予定しております。</p> <p>中間まとめができたところで、近隣の方々、それから保護者会で基本設計の中間説明会を予定しております。これらの説明会が終わった後、第8回で平面計画のまとめを作成し、最後に第9回、6月になりますが、基本設計の最終まとめ案を皆様にお示しして、ご確認いただきたいと考えております。</p> <p>それから委員の皆様の中でも、前回は触れていますがPTAの役員などで、年度で交代する方もいらっしゃると思います。また、各団体の方もメンバーが変わることなどのご都合などもあると思いますが、もし可能であれば、年度をまたいで残り3ヶ月になりますので、これまでの検討経過もあり、現在の委員の皆様にご継続していただければ幸いです。</p> <p>これは案ということでお示ししていますが、このような形で進められればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>次回の日程の連絡ですが、今、課長からも検討期間変更の中でお話しさせていただきましたが、次回は3月1日月曜日、午後2時から同じ井草地域区民センターで行う予定にしておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、本日の議事録もいつものように1ヶ月程度後に案を送付しますので、ご確認いただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>進行役</p>	<p>では、最後に学校整備担当部長より挨拶をお願いいたします。</p>
<p>学校整備担当部長</p>	<p>本日は誠にありがとうございました。</p> <p>冒頭課長からも申し上げましたが、本日のこの会議開催できるかどうか大変悩みました。昨年末の大みそかには新型コロナウイルス感染者数が1,300人ぐらいに急に増えました。年が明けて2,000人台で非常事態宣言になり、こういった中で会議を開催していいのか、本当に悩みました。</p> <p>今日、区役所や荻窪の保健所、たくさんの会議が開かれています。そのほとんどはワンイシュー、コロナの会議です。昨日は阿佐谷の病院で大変なクラスターもあり、その対策や、今まさに予防接種をどういう場所で、どのくらいの体制でやるのか。昨日、その予防接種を担当する管理職も決まり、今準備を進めているところです。</p> <p>区役所中がコロナ一色、国も都も杉並区もみんな一緒です。そういった中でこういう会議ができるのか私も悩みましたが、一つぐらい将来の夢を語る会議が、このコロナ禍であってもいいのではないかと思います。</p> <p>欠席する方も多いのではないかと不安もありましたが御覧ください、6回目にして最も多くの委員に出席していただきました。井草地域に住む皆様方、この中瀬中学を愛する気持ちを本当に感じて、今少し感激しています。ありがとうございました。</p> <p>本日のこの案は、議論の中で委員からも練られた案が出てきたとの評価を頂きましたが、この中瀬中学の改築は井草地域以外の方々からも高い関心を持っていただいています、区内にある建築士会の皆様からも様々なご意見やアド</p>



	<p>バイスを頂き、そういったことも今回特にD案に反映させていただき、ブラッシュアップしてお示しました。</p> <p>今回一定の方向性を頂き、次回第7回、3月1日は平面計画ということで、和室をどうするかも含めてご議論いただければと思っております。</p> <p>何人かの方からもご指摘いただきましたが、確かに区財政はコロナの関係で大変厳しい。令和3年度予算もこれから議会でご審議いただきますが、大変厳しい数字をお示しせざるを得ません。そういった中で、区の財政を心配していただく声も頂きました。本当にありがたいことと思っております。</p> <p>そういった金額の精査もこれからさせていただきながら、将来に向けての投資でもございますので、財政当局ともしっかり詰めていきながら、いい学校を造ってまいりたいと思っております。これからも今年の6月まで続きますが、ぜひよろしく願いいたします。</p> <p>本日はコロナ禍の中、たくさんお集まりいただきまして誠にありがとうございました。</p>
進行役	<p>では、これで閉会とさせていただきます。皆様、くれぐれも健康にご注意ください。コロナを乗り越えましょう。どうもありがとうございました。</p>